

地域ネットワークニュース

電話0299(93)0294

e-mail mail@kamisushakyo.com

http://www.kamisushakyo.com

第128回 -勉強会-

障害者の就労に向けて ~ジョブコーチの役割と支援の実際(その1)~

鹿島育成園 生活支援センター 鈴木はつ子さん

2回連続
講座

ジョブコーチ(job coach)は、障害者の就労に当たり、本人の得意な分野や不得手なことなどの障害特性を事業所に伝達するなど、障害者が円滑に就労できるように、職場内外の支援環境を整える、企業と障害を抱える人の双方をサポートする専門家です。障害者福祉の就労・雇用の現場で、今やジョブコーチという役割は欠かせない存在として認識されています。

平成18年度の障害者自立支援法の施行に伴い、就労移行支援・就労継続支援等の創設により障害者が少しでも多く地域の事業所へ就職できるように取り組まれ、事業者に対しても法定雇用率の改正や助成金の充実が図られるなど、障害者の就労に向けての間口が広がりつつあります。

鹿島育成園生活支援センターでは、この4月より国及び県から「障害者就業・生活支援センター事業」の委託を受けて、施設入所者のみならず、地域で生活する障害者の就労及び生活面の一体的な支援を行う機関となりました。この事業の要は関係機関との連携にあります。多くの関係者がこの事業について正しく理解し、障害者の雇用促進に向けて雇用、福祉、教育等の関係機関が一体となって取り組むことが必要です。

そこで、今回の勉強会では、障害者がジョブコーチを利用する際の手続きやジョブコーチの具体的な支援の流れや役割など、実際の活動場面での具体的な事例を通して詳しく説明して頂きます。この機会に障害者の就労の充実に向けてみんなで考えましょう。障害を抱える当事者のみなさん、関係機関の方々はもちろん、障害者雇用に関心のある事業者の方々の参加をお待ちしております。ふるってご参加ください。



今回のテーマ『障害者の就労に向けて』は2回連続講座となっています。

障害者の就労支援の現状と概要、ジョブコーチの具体的な支援、ジョブコーチを利用し就労した当事者の喜びと感想等々、内容盛りだくさんで2回に分けて開催します。次回は7月8日(火)に開催予定です。

平成20年6月10日(火)午後7時より 神栖市保健・福祉会館 2階 研修室

第127回勉強会報告 「ひきこもり」とはどんな状態?

参加者
17名

現代社会は、ストレス社会といわれ、人々は多くのストレスにさらされています。ストレスが大きすぎて自分の力ではどうにもできなくなった時、外からの刺激を遮断して自分の殻に閉じこもることにより、自分を守ろうとすることがあります。この状態を外から見ると「ひきこもり」になります。「ひきこもり」は、疲れきった状態の心にエネルギーを蓄えるために必要な休息期間だと考えられます。

また、何らかの病気や発達障害が、ひきこもりの主な原因になっていることがあります。その場合、病気や障害があるとわかれば、対策を考えやすくなります。薬物療法などの専門的医療の効果もかなり期待できます。いずれにしても、早い段階での相談がひきこもり状態の長期化を防ぎます。

まだまだひきこもり当事者の相談機関や支援機関は不足している状況にありますが、このような機会を通して情報を発信していきたいと思っています。皆様からの情報をお待ちしております。